

平成22年度事後評価結果(平成23年2月)

[研究開発課題名] パターン認証アルゴリズムに基づく高精度な創薬シード・リード化合物探索手法のシステム開発

[委託機関名] 株式会社京都コンステラ・テクノロジーズ

項目	評価	総合所見
総合所見	A	<p>(技術関係)</p> <p>最終目標を二つとも達成し、予測性能の数値目標も達成している。すなわち、</p> <p>(1) 相互作用マシンラーニング法で、既存のデータから特徴抽出を行うことにより、リガンドの予測を比較的高い精度で実行できるソフトウェアをパッケージ化すると同時に、予測精度を高めることに成功した。</p> <p>(2) 外部ソフトウェアとの連結モジュールを追加することにより、統合システムとして、より高い予測精度を導くことが可能となった。</p> <p>これらの技術を完成させたことにより、予測性能及び計算時間は、従来手法を大きく改善しており、成果全体としての内容は、十分に評価できる水準にあると考えられる。一方、労務費が工学系の水準でみれば通常よりやや高く、費用対効果は「許容できる範囲」と判断した。</p>
		<p>(事業化関係)</p> <p>創薬業界における画期的な商品と位置づけられ、ビジネス展開が大いに期待される場所である。ニッチな市場を狙ったハイテク商品であり、今後、創薬関係の研究・開発に大きな効果をもたらす可能性がある。海外には、現在、同一レベルの商品は存在しない。しかし、高い商品的価値に期待しすぎるため、商品の販売等を工夫してより多くの収益をあげる努力が不足していると考えられる。国内外を問わず、積極的な営業展開を含め、収益の向上努力を実施することが強く望まれる。</p>

(注)総合所見の公表にあたっては、企業秘密等に配慮しています。